

職員の協働意識改革に向けた取組み 新任職員研修『協働講座』実施報告

1 職員の協働意識改革に向けた研修

「市民と行政を結ぶ 市民から信頼される職員」を基本理念に掲げ、職員の協働意識改革に向けた取組みとして、階層別職員研修『協働講座』を実施。

(1) 研修の目的

- 「新潟市人材育成基本方針」に定めている「市民とのパートナーシップ（市民との協働によるまちづくり）を実現できる職員」の養成を目指す。
- 多様化する住民ニーズや社会環境の変化に対応するため、幅広い視点を持ち、市民の視点に立った行政のあり方を学ぶ。

(2) 研修の体系



2 新任職員研修『協働講座』

平成27年度から協働の実践研修として実施、平成29年度は3回目。平成27年度は地域団体等協働の現場の見学等を実施。平成28年度からは内容を拡充し、新任職員自らが地域団体等の活動に直接参加する「体験型」の実践研修として実施。

(1) 平成28年度の実施概要

- 対象者** 平成28年度新規採用職員138名
- 参加活動** 4会期に分かれ、3地域コミュニティ協議会及び1NPO法人主催の事業に参加し、地域活動を実践体験。

地域コミュニティ協議会主催「地域の茶の間」、「子育て応援広場」
NPO法人主催「地域清掃活動（スポーツごみ拾い）」

(2) 平成29年度の実施概要

- 対象者** 平成29年度新規採用職員145名
- 参加活動** 1グループ6～7人のグループに分かれ、市内23の地域コミュニティ協議会事業の運営に参加し、様々な地域活動を実践体験。

防災訓練、運動会、健康づくり（体操・軽スポーツ）、子育て（星空観察・下校パトロール）、祭り、環境美化（清掃・草刈り）など

(3) 実施内容

① PLAN 全体講義 6月5日(月)

- 協働基礎講義「なぜいま協働が必要なのか」
(講師：市民協働課職員)
- 「コミュニティ協議会の活動について」
(講師：地域コミュニティ協議会会長)
- 「NPO法人活動について」(講師：NPO法人代表)



② DO 協働実践体験 6月～9月

- グループに分かれ協働実践体験の計画を立案。
- 計画に基づきグループごとに市内23コミ協の事業に参加し、地域活動を実践体験し「協働」についての理解を深める。



③ CHECK グループワーク 9月20日(水)～22日(金)

- コミ協での協働体験をグループごとに共有、何を得たかを確認・とりまとめ。
- グループワークの結果を発表、3つ会期ごとにそれぞれ代表2グループを選出。



④ ACTION 協働発表 9月28日(木)

- 各会期で選出された代表6グループによる協働体験及びコミ協活性化へ向けた提案等とりまとめ内容の市長への発表
- 発表グループごと及び全体の総括について市長から講評



(4) 研修参加者の感想及び市長講評の内容（抜粋・要約）

【研修参加の感想】

- 地域活動は最初は面倒くさいイメージだったが、体験してみると楽しかった。
- 仕事をする上での視野が広がった。

【市長講評】

- 若者の地域活動への参加が課題。この研修を自ら地域の活動に参加するきっかけにしてほしい。
- 地域への提案も信頼感があってこそ。それには一緒に汗を流すことが前提。
- 市職員は専門性やネットワークを発揮して感謝される存在になれるように。